

電子安定器

**WACOH**  
**WL401SMBADC**

# エア式バルーン照明機 (カート式)

## 取扱説明書



ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき正しく  
お使いください。  
本書はお読みになった後も大切に保管してください。



**和光機械工業株式会社**

<http://www.wacoh.ne.jp>

H22.9.28作成

## <はじめに>

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機を末長くご愛用頂けますよう、この取扱説明書を熟読の上ご使用くださいますようお願い申し上げます。

尚、発電機につきましては、発電機の取扱説明書をお読みください。

また、製品の向上には絶えず努力を傾けております。従いまして製品改良のため、仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

## <目次>

1. 安全にお使い頂くために	1～2ページ
2. 仕様諸元	3ページ
3. 外形寸法図及び各部の名称	4ページ
4. 組立	5ページ
5. 運転準備及び運転	5～6ページ
6. よくある質問と、その対応	7ページ
7. 結線図	8ページ

# 1. 安全にお使い頂くために

安全に能率よくお使い頂くために、ご使用前にこの取扱説明書及び安全に関する注意事項をよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解の上で正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

## 1) 安全に関する表示について

本書では、運転者や他の人が障害を負ったりする可能性のある事項を下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

- ⚠ 危険** 指示に従わないと、死亡または重大な障害に至るもの
- ⚠ 警告** 指示に従わないと、死亡または重大な障害に至る可能性があるもの
- ⚠ 注意** 指示に従わないと、障害を受ける可能性があるもの

## 2) 運転および運転上の注意

### (1) 設 置

- ① 本機は**平坦な場所**でご使用下さい。
- ② 転倒防止のため、必ず三脚を全開にしてからご使用ください。
- ③ 雨、強風（平均風速 10m/s 以上）等の天候でのご使用は避けてください。  
\* 例：大枝が動く、電線が鳴る、傘がさしにくい状態
- ④ バルーン照明機は防水型ではありません。雨や雪の中、水しぶきのかかるような場所に置いたり、操作をしないでください。

### (2) 点 灯 時

- ① バルーン照明機を濡れた状態で操作すると、漏電などの故障になるばかりでなく、操作の際に感電するおそれがありますので、絶対にしないでください。
- ② 作動中は電源プラグ端子に触れないでください。**感電のおそれ**があります。
- ③ 消灯後、**再点灯には3分程度**必要です。

## 1. 安全にお使い頂くために

### (3) 移動

- ① 移動時はポールを下げ、器具は固定して移動してください。  
\* 各可動部は移動中、動かない様にしてください。

### (4) 運搬

- ① 運搬するときは投光器具を低くしてください。
- ② 破損防止のため運搬するときは、確実に固定してください。

### (5) ランプ

- ① 必ず指定のランプを使用して下さい。適合ランプ (MF400EH/BUP)  
尚、取扱はご注意願います。
- ② 点灯中および消灯直後のランプおよび照明器具は高温ですので、火傷をするおそれがあります。  
※ランプ交換およびバルーン照明器具の操作・収納は、必ず冷えてからおこなってください。

## 3) その他の注意事項

### ⚠ 警告

#### 過労・飲酒運転禁止

過労や睡眠不足などで体調が悪いときや、飲酒時・薬物飲用時の運転は、注意力が散漫になり、事故につながります。  
体調が悪いときや、飲酒・薬物飲用時の運転はしないでください。

#### きちんとした服装・保護具の着用

だぶだぶの服、装飾品など機械部品にひっかかる可能性のあるもの、また油などの付着した作業着は引火しやすいので着用してはいけません。  
作業によりヘルメット・保護めがね・安全靴・マスク・手袋などを忘れずに着用してください。

#### 改造はしないでください

弊社の承認の無い改造は、安全上問題になることがあります。  
許可の無い改造に起因する、人身事故や故障については責任を負いかねます。

### ⚠ 注意

照明器具などに触れないでください。

点灯中はランプ等高温になるため、ヤケド等ケガの恐れがあります。

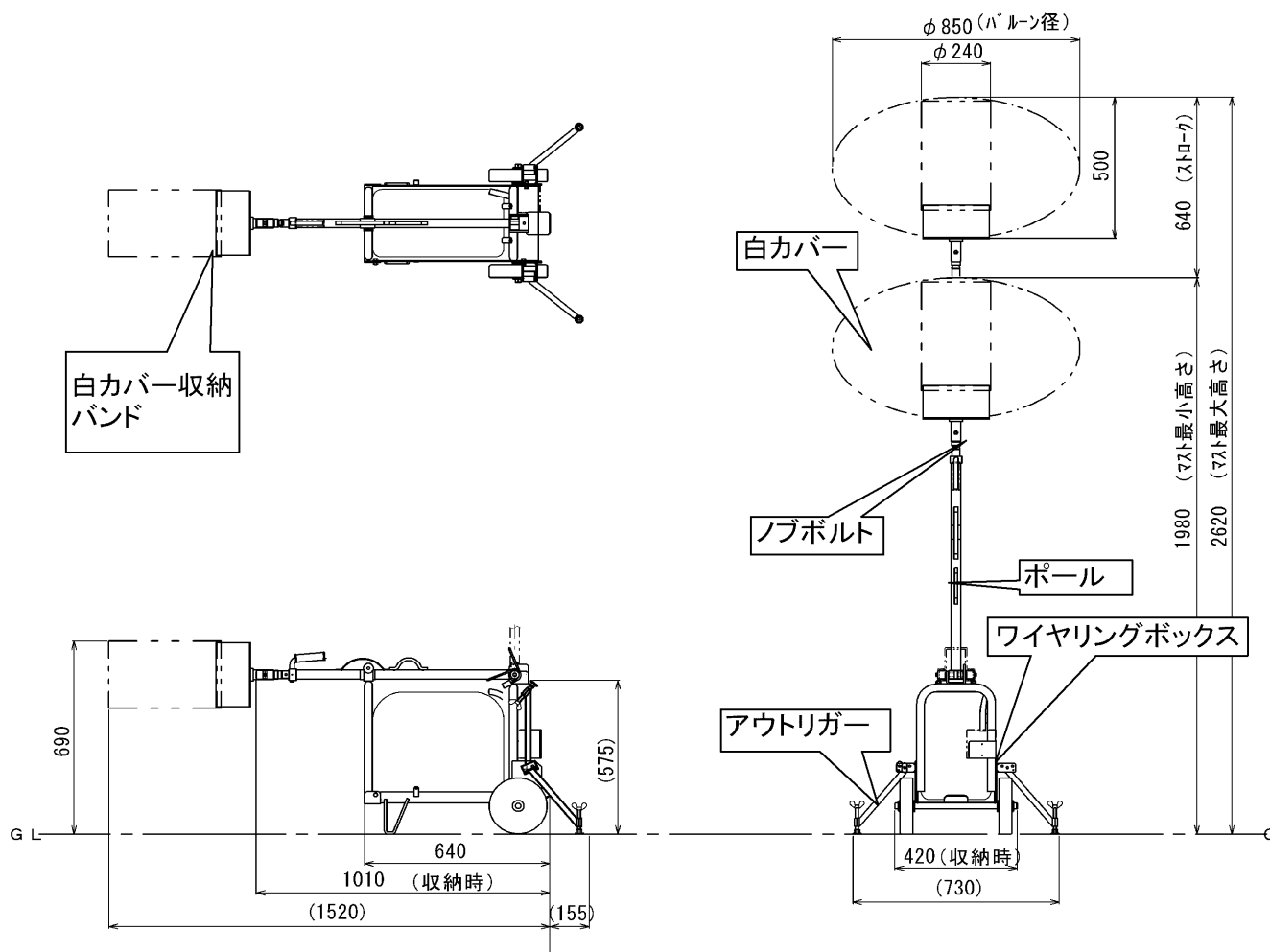
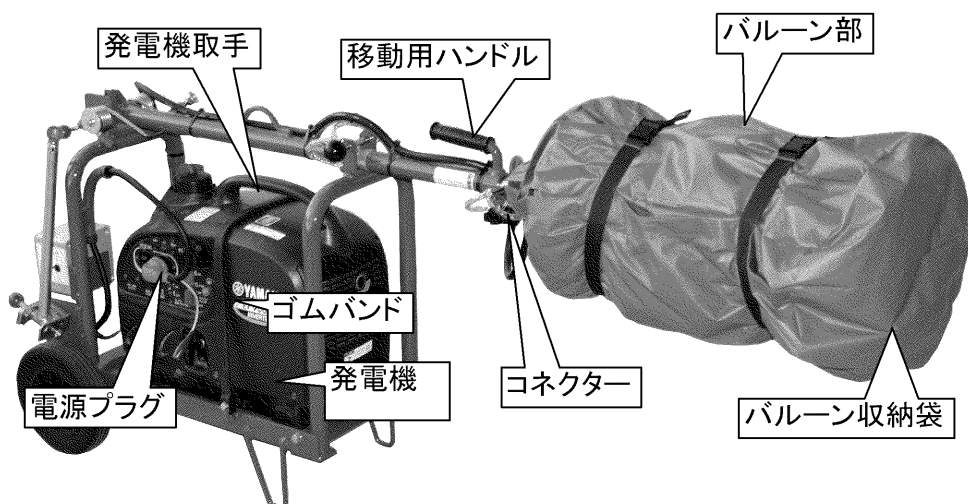
## 2. 仕様緒元

型 式	WL401SMBADC
発電機	EF900iS
周波数 (HZ)	50/60 共用
電圧 (V)	100
電流 (A)	ファン0.55 (50Hz) / 0.61 (60Hz)
	4.3
安定器	高力率型
ランプ	メタルハライド 400WX1灯
ランプ寿命(時間)	12,000
全光束 (lm)	38,000X 1 灯
バルーン直径 (mm)	850
ポール操作	手動無段(急降下防止装置付)
ポール型式	手動伸縮2段式
ポール最大高 (mm)	2,620
寸法LXH (mm)	1,010X730
乾燥質量 (kg) ※質量にグリーンカバーは 含まれていません。	32.0 (合計)
	11.5 (フレーム)
	6.5 (バルーン部)
	14.0 (発電機)
走行装置	手持・手押し式ノーパンクタイヤ(2個付)
アウトリガー	標準装備
投光器具最大旋回角度	360度 (ポールより旋回)
ランプ台回転機構	なし
マスト落下防止装置	標準装備

### 3. 外形寸法図および各部の名称

#### 3. 外形寸法図および各部の名称

収納状態写真



## 4. 組立

- 1) 発電機を収納状態写真のように台車に載せます。
- 2) 台車に付いているゴムバンドを発電機取手の中を通し反対側のフックに引っ掛けて、発電機を固定します。



## 注 意

※ゴムバンドは強いバンドです、作業の時は片方の手で引きながらもう片方の手でフックを掛けるように作業してください。  
バンドの張力でケガをしないよう注意してください。  
※発電機取手は右記写真を参考願います。

発電機のコンセントに、電源プラグを差し込んでください

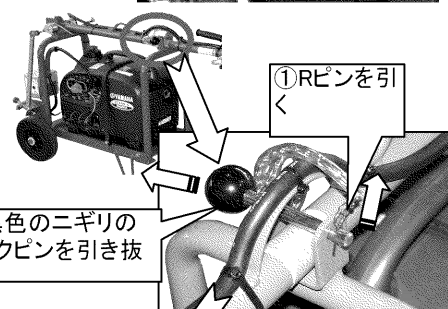
- 3) 電源プラグを発電機のコンセントに差し込んでください。



## 5. 運転準備及び運転

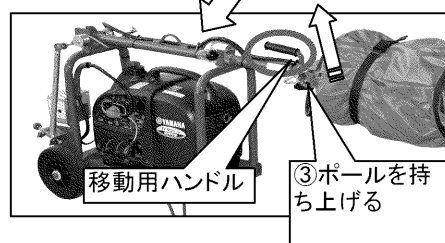
## 1) 投光機の本体の移動

- (1) ポール前方のロックピンに挿入されている『Rピン』を引き抜き、ロックピンの黒色のニギリを引いてロックを解除し、ポールの移動用ハンドルを持ってポールを『パチン』と音がするところまで立ててください。



## 注 意

※固定位置に来れば自動的にポールがロックされます。  
このとき、ポールを少し動かしてロックされているか確認願います。  
※バルーン部が組み付けてから又は片方の手でポールを押さえながら、ロックピンを引いてください。  
ポールが急に起き上がりケガをする場合があります。



- (2) 移動用のペダルに足をかけ、ポールの移動用ハンドルを後ろに引き投光機を移動してください。

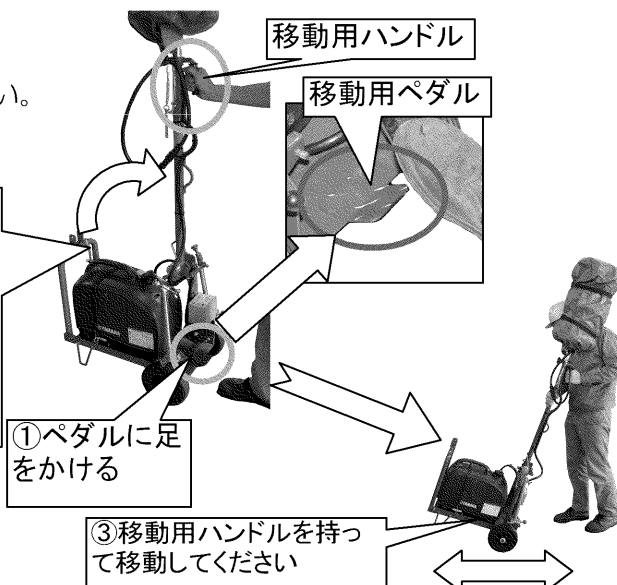


## 注 意

投光機を移動するため倒す時は倒しすぎないでください。  
発電機の燃料又はオイルがエンジンから漏れる場合があります。

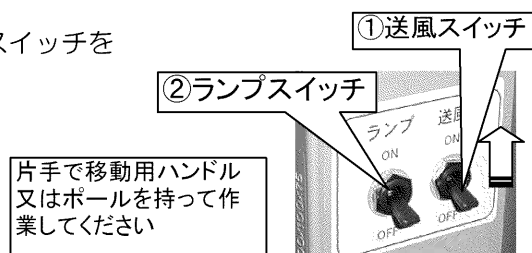
②移動用ハンドルを持って、ペダルで押さえた足を軸に矢印の方向に倒してください

※注意：倒す方向に障害物がない事確認して作業してください



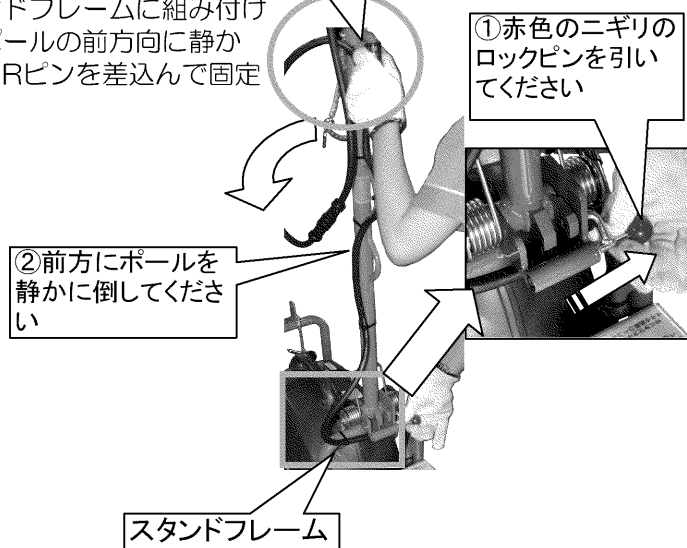
## 5. 運転準備及び運転

- 1) . アウトリガーを下ろし固定用のピンを差込んで固定してください。
- 2) . バルーン部のノブボルトを固定していない又は緩んでいる場合しっかり固定してください。
- 3) . バルーン部のバルーン収納袋を外し、白カバーの収納バンドの固定を解除してください。  
※収納時は、逆の手順で収納してください。
- 4) . バルーン部とワイヤリングボックスからそれぞれ出ているケーブルを繋ぐコネクタを差し込んでください。
- 5) . 発電機を運転し送風スイッチを『ON』にし、その後ランプスイッチを『ON』にして点灯します。



片手で移動用ハンドル  
又はボールを持って作  
業してください

- 6) . 作業を終了しボールを収納する場合、スタンドフレームに組み付けている赤色のニギリのロックピンを引きボールの前方向に静かに倒し、黒色のニギリのロックピンを差込、Rピンを差込んで固定してください。



## 6. 使用上の注意点

- 1) . 本機は平坦な場所でご使用ください。
- 2) . 雨、強風等の天候でのご使用は御避けください。
- 3) . ボールを上下するときはボールの落下を防止するため、しっかり手で押さえて高さを調整してください。  
この時、ボール下部の赤い線より上に上げないでください。
- 4) . 移動時はボールを下げ、バルーン部を収納し移動してください。
- 5) . 再点灯には約3分程時間を必要とします。



## 7. よくある質問と、その対応

よくある質問	確認場所	対応
ランプが点灯しない。 (ランプ関係)	発電機に投光器具以外で、大きな電流を使用する電気器具を接続していないか。	投光器具以外の機器の接続を外す。
	ランプが緩んでいないか。	ランプを確実にねじ込む。
	発電機のスイッチが（OFF）になっていないか。	スイッチを（ON）にする。
	結束部に外れているところはないか。	外れているところを修理する。
	発電機の電圧は正常か。 (無負荷時105～110V)	・電圧を適正にする。 ・部品を交換する。
	ランプがまだ熱いうちに再点灯しようとしていないか。  (再点灯には、約3分程度かかります。)	ランプが十分に冷えるまで待つ。
	商用電源に接続しても、症状が改善されない場合は、ランプ又は安定器の寿命が考えられます。	ランプ又は安定器の交換。
ランプが短時間で、点灯しなくなる。 (ランプ関係)	周囲の温度が高くないか。 (周囲温度40℃以上)	設置場所を変えるか、風通しをよくする。
	発電機の電圧は正常か。 (電圧が高くなっていないか、無負荷で120V以上)	電圧を適正にする。
	商用電源に接続しても、症状が改善されない場合は、ランプ又は安定器の寿命が考えられます。	ランプ又は安定器の交換。

⚠ 注意

電気配線の分解は危険です。感電や火傷、けがの無いように十分注意してください。

## 8.配線図

